

果樹情報第3号

福島県北農林事務所
農業振興普及部
TEL 024-521-2609

1 気象概況

(1) 気象経過 (アメダス：福島)

表1 気象表

	平均気温(°C)			最高気温(°C)			最低気温(°C)			降水量(mm)			日照時間(hrs)		
	本年値	平年値	平年差	本年値	平年値	平年差	本年値	平年値	平年差	本年値	平年値	平年比(%)	本年値	平年値	平年比(%)
1月計・平均	2.3	1.6	0.7	6.4	5.5	0.9	-1.5	-1.8	0.3	10.5	49.4	21	164.7	132.0	125
2月計・平均	3.6	2.2	1.4	8.4	6.5	1.9	-0.4	-1.5	1.1	8.0	44.3	18	143.9	142.3	101
3/1~3/5	6.2	3.5	2.7	11.3	8.2	3.1	2.0	-0.4	2.4	16.0	9.6	167	31.6	26.6	119
3/6~3/10	7.5	4.1	3.4	14.0	9.0	5.0	1.5	-0.1	1.6	11.5	10.5	110	31.8	27.7	115
3/11~3/15	7.0	4.9	2.1	12.3	10.0	2.3	2.8	0.4	2.4	29.0	11.7	248	26.9	28.6	94
3/16~3/20	8.6	5.7	2.9	15.7	10.9	4.8	2.0	1.1	0.9	0.0	12.9	0	45.5	29.0	157

(2) 1か月予報 (3月23日から4月22日 仙台管区气象台発表一部抜粋)

<予想される向こう1か月の天候>

東北太平洋側では、平年に比べ晴れの日が多いでしょう。

向こう1か月の降水量は、東北太平洋側で平年並または少ない確率ともに40%です。

日照時間は、東北太平洋側で平年並または多い確率ともに40%です。

週別の気温は、1週目(3月23日~3月29日)は、平年並の確率50%です。2週目(3月30日~4月5日)は、平年並または低い確率ともに40%です。3~4週目(4月6日~4月19日)は平年並の確率が40%です。

2 発育状況

- モモの発芽は、「あかつき」が3月20日で平年より5日早く、「ゆうぞら」が3月20日で平年より6日早くなりました。
- ナシの発芽は、「幸水」が3月25日で平年より8日早く、「豊水」が3月22日で平年より9日早くなりました。
- リンゴの発芽は、「つがる」が3月21日で平年より5日早く、「ふじ」が3月22日で平年より6日早くなりました。

表2 発芽・展葉状況

	発芽			展葉		
	本年	平年	昨年	本年	平年	昨年
あかつき	3月20日	3月25日	3月24日	—	—	—
ゆうぞら	3月20日	3月26日	3月23日	—	—	—
幸水	3月25日	4月2日	3月28日	未	4月15日	4月4日
豊水	3月22日	3月31日	3月27日	未	4月11日	4月2日
つがる	3月21日	3月26日	3月23日	未	4月10日	3月31日
ふじ	3月22日	3月28日	3月24日	未	4月8日	3月30日

注) 平年は1986~2015年の平均値。

3 発芽・開花予測

今後の気温が平年並みに経過した場合、モモ「あかつき」の開花は4月11日頃で平年より3日早く、リンゴ「ふじ」の開花は4月25日頃で平年より1日早いと予測されます。

なお、この時期の生育は直前の気温の影響が大きいため、今後の気温の推移により大きく変動する可能性があるので注意しましょう。

表3 発芽予測日〔予測方法：発育速度（DVR）モデルによる発育予測〕

ステージ	品種	観測日		今後の気温経過		
		昨年	平年	平年並み	2℃高い	2℃低い
開花始	あかつき	4月3日	4月14日	4月11日	4月8日	4月14日
	ふじ	4月17日	4月26日	4月25日	4月20日	5月1日

注) 発芽日および開花始の平年は、1986～2015年の平均値。

4 栽培上の留意点

モモ・ナシ・リンゴでは発芽期が平年より早く、開花も早まることが予測されるため、発育予測（表3）を参考にして、せん定やせん定枝処理、誘引、休眠期防除、摘らい等管理作業が遅れないように注意しましょう。

5 病害虫防除上の留意点

発芽前の防除は時期が遅れないように注意し、温暖無風の日を選んで確実に実施しましょう。

(1) リンゴ

近年、腐らん病の発生が多くなっています。発病部は削り取るかせん除しましょう。
うどんこ病のボケ芽等はせん除し、第一次伝染源の密度低下を図ってください。

(2) モモ

せん孔細菌病の春型枝病斑は、発芽10日後頃から発生する場合がありますため、見つけ次第せん除しましょう。
ハマキムシ類の発生が多い場合には、発芽期から開花期前後に防除を実施してください。

(3) ブドウ

晩腐病の防除のため、前年の房の取り残し部分、巻きひげ、結果母枝の枯死部などを丁寧に除去し、越冬病原菌密度の低下を図りましょう。